

会 議 報 告 書

会議名	令和4年度第1回富士見公民館運営推進委員会
日 時	令和4年7月1日（金）午後3時30分～午後4時40分
場 所	富士見公民館 2階 第3会議室
出席者	<p>（委員 9人）</p> <p>樺澤委員長、小林副委員長、増村委員、吉原委員、大手委員、 、沛野委員、樺澤委員、鈴木委員、太田委員</p> <p>（事務局 2人）</p> <p>小林館長、剣持副主幹</p>
欠席者	早部委員
傍聴者	なし
議題	<p>1 令和4年度富士見公民館運営の基本的事項について</p> <p>2 令和4年度富士見公民館事業計画について</p> <p>3 その他（コミュニティデザイン及び公民館利用ガイドラインについて）</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 令和4年度第1回富士見公民館運営推進委員会資料
結果概要	<p>○委員委嘱式</p> <p>新委員4名に対し、委嘱状を交付した。</p> <p>○委員会</p> <p>令和4年度富士見公民館経営の基本的事項、富士見公民館事業計画、コミュニティデザイン及び公民館利用ガイドラインを小林館長から説明した。</p>

主な意見・質疑応答

(樺澤委員長)

公運推の委員さんは、公民館運営に協力することとありますので、事務局説明があった事業計画等について、ご意見いただきたいと思います。

(小林委員)

旧赤城山分校の体育館は、どのような使用されているのか。

(事務局)

赤城山において、赤城の散策、登山、またボーイスカウトの活動等や荒天時に使用する場合を想定して予約しておくなどになります。

冬場は利用せず、夏場だけになります。

(大手委員)

ふじみかるたは、まだ公民館にありますか。

園児にかるたを提供したいのですが、何処で販売されていますか。

(事務局)

販売は、富士見公民館また富士見支所でも販売は行っています。

(吉原委員)

市全体で人口減になっている中、富士見地区は昨年より減少していません。

転居や転入届を富士見支所に来るわけなので、その時に公民館をアピールできるよう公民館事業を紹介できる物を配布してもらいできれば、新しく転入してきた方に地域の関心をもってもらえるのではないのでしょうか。

昨今地域に馴染めない子供が増加するなか、公民館事業を通じて交流の場を増やせるよう工夫してもらいたい。

(事務局)

転入や転居の案内時の配布物の中に、地域の情報も含まれているのか確認させていただき、地域密着の館報やチラシを入れることが可能か、担当課に相談させていただきます。

(樺澤委員長)

予算もかからない範囲であると思うので検討してください。

(沛野委員)

保健推進員の活動の中で、赤ちゃん訪問事業というのがあるのですが、転入者で行政区（自治会）を知らない方が増えており苦労している。

転入時には、以前は地元自治会長さんを訪問することになっていると思うのですが、せめて自治会名は確認して居住してもらいたいと感じます。

(樺澤委員長)

行政区(自治会)境界が複雑に入り組んでおり、支所で自治会案内をどこまで説明しているのか不明ではあるが、住んでいる自治会は把握してもらいたい。

(沖野委員)

昔は、住宅地図が配布されていて、地区等の判断がしやすかったが最近はないので、新しい住宅地図でも配布してもらえると訪問もしやすくなるのですが。

(太田委員)

個人情報の関係で、以前は各地区住宅地図はありましたが、今はどの地区でも住宅地図は無くなっています。

(樺澤委員長)

個人情報の取扱いで、以前と違って扱いづらくなっているのが現状です。

(小林委員)

自分の自治会が分からないことは、自治会館を利用していないことや、コロナの理由で自治会の活動が制限されているなどの理由が考えられる。

そのような状況の中、自治のまとまりが無くなりつつあるので自治会運営も大変になると思う。

(樺澤委員長)

地区のコミュニティが薄れつつあるなか、コロナの影響で一層感じます。

体育祭や産業祭を自治会でもいろいろ検討はしていますが、自治会からも呼びかけや積極的に盛りあげていく要請を受けております。

コロナ前の元の状況に戻すのはなかなか難しいと思いますが、何とか今までの行事を実施できるものは、実施していければと思います。

(沖野委員)

富士見地区に転入してきた時に、支援等分かりやすい形で案内してもらえればありがたいです。

(樺澤委員長)

自治会に対しての要望も踏まえ、自治会長会議時には提案していきたいと思います。

(太田委員)

のびゆくこどものつどいも3年中止に伴い、中学校で経験出来なかった学年が出てし

まいりました、中学ではなるべく2年間出来なかった事業を今年は実施していきたい思いで取り組んでいます。

一度も経験しないで卒業してしまうことで子どもに寂しい思いをさせてしまったり、また、その後実施するにあたり経験者が誰もいないことが不安である。

また、のびゆくこどものつどいでは、子ども達が地域とのつながりの絶好の機会を逃してしまうこと。

今後地域との繋がりをもてる事業を、コロナ以前よりも増やさないと子ども達の社会をみる芽が育たないかなと感じます。

(樺澤委員長)

以前に学校評議員会で授業参観させてもらったが、先生と生徒の関係や雰囲気は非常に良好であることを感じました。

(鈴木委員)

学校外で地域の方々の交流がないため、例えば地域の清掃活動に親についていくとかでもいいので、関りをもつようにして欲しい。

近所の方を知らない子どもが増えており、あいさつもしない。

例えば「安全安心の家」ですが 地域の方は協力の意思はあるが子どもたちがあまり利用しないらしいです。

子どもたちに聞いてみると、知らない人にはあいさつはしにくいと言うのが理由であり、地域との交流があると、気軽にあいさつができ、助け合える関係が出来ると良いと思います。

(樺澤委員長)

踏み込んで地域との繋がりを深められればと思います。

(増村委員)

コロナにおいて、子ども以外の公民館活動団体も同様であり、行政区事業の段取りの準備が出来なくなり、切れてしまうことを心配しています。

(樺澤委員)

一般の方からの、講座の要望や意見を聞いてくれるようにしてもらいたい。

(事務局)

講座後には、アンケートをとって意見は集約しておりますが、意見箱のようなものは現在ありません。

(沛野委員)

講座案内を、分かりやすく工夫してもらいたい。

(小林委員)

現在のコロナ禍の状況を踏まえながら、様々な講座等なるべく要望に沿えるよう企画していきたいと思います。

(樺澤委員長)

貴重な意見を参考に、公民館運営に役立ててもらえればと思います。